

# 被災者への 支援を強めよう

## 大阪からも職員が支援派遣

「災害関連死が増えないか心配」

能登半島地震被災者の支援へ、大阪からも消防、水道、公衆衛生、医療、建物倒壊調査、避難所運営などの業務で職員が派遣されています。

大阪自治労連の各組合は支援カンパを呼びかけています。吹田市労連は災害ボランティアにも取り組みました。派遣職員の賃金・諸手当・労働時間など適正な勤務条件を確保することも必要です。被災地へ駆けつけた組合員からは「被災された方に喜んでもらえてよかったですけれど、災害関連死が増えないか心配だ」という声が寄せられています。

## 大阪の自治体正規職員は 阪神・淡路大震災から半減

一方で、府内の職場では、どこも



吹田市労連の災害ボランティア派遣。右端の車を救出する作業は、周辺の雪かきや、重機やチェーンソーを使って行われました(1月27日・七尾市)

## 住民の安全まもる人員体制を



介護施設の貯水槽に給水する堺市水道局の仲間(輪島市)

ギリギリの人員で仕事をしていることから「支援に行きたくても行けない」という声もあがっています。

大阪の自治体正規職員は、阪神・淡路大震災の発生した1995年には約13万人いましたが、2023年は約7万人まで半減しています。能登半島では復旧に必要な人員も資材も不足している中、「万博よりも復興支援を」の声も日増しに強まっています。大阪でも南海トラフ地震は近い将来に必ず発生します。平時でも災害時でも、住民の安全に責任の持てる人員体制づくりが急務です。



富田林市から輪島市に派遣され、避難所生活支援などの任務にあたる寺内克憲さん。輪島中学校には2月4日時点で371人が避難生活をおくっています



あなたはいい人  
一緒に暮らせる

## 「小さき麦の花」

昨年2月に公開された中国映画をお薦めします。2011年の中国北西地方の農村を舞台にした貧しい夫婦の愛の物語。低予算作品ながら、本国では若者を中心にネットの口コミで広がり大ヒットしたという(奇跡の映画)です。

主人公は愚直で寡黙なヨウテイエと障害をもつ内気なクイイン。家族の厄介者だった二人は強引に見合結婚させられ、村人が出稼ぎに出た後の空き家を借りて暮らし始めます。働き者で村人のためなら力を貸すことを厭わない夫、いつも彼を気遣う妻は、いつしかお互いを思いやり、寄り添って生きるようになります。

ところが、空き家を取り壊した者に政府から補助金が出ることになり、空き家の主に家を追い出された二人は、

## 「いしのん」が「えい」が

### 愛という言葉は 一度もでてこないけれど

自分たちで家を建てることにします。土を捏ねレンガを作り乾かし...たいへんな作業を二人でやり遂げ、大雨を乗り越え、ようやく完成しました。これから新居での幸せな生活が続くはずですが...

夫役は監督の叔父で実際の農民、片や妻を演じたのは実力派女優。セリフは少なく、愛の言葉一つありませんが、苦勞を重ねることに深まる夫婦の愛と信頼が静かな感動を呼びます。オドオドするばかりだった彼女が働く中で美しく変わり、夫に理不尽な扱いをされた時には抗議するという強さも得た、そんなクイインの変化が印象的です。移り変わる季節の美しさ、ロバの存在、農作業のリアルな描写から土とともに生きる人々の優しさや力強さが伝わってくるでしょう。

## Culture Navi かるちやーなび

### 作りませんか



### 大豆もやしの 炊き込みご飯

貝塚市職労 瀬戸 真一さん

協力：現業評議会・給食部会

### ピリ辛のヤンニョムジャンが 決め手じゃん!!



### 材料(1人分)

■米70g(1合、約140g)、大豆もやし30g、鶏肉(もも・むねどちらでも可)20g、ゴマ油2g、薄口しょうゆ3g、水77g  
【ヤンニョムジャン(かけタレ)】濃口しょうゆ5g、ゴマ油1.3g、青ねぎ2.1g、にんにく0.05g、みりん1.5g、ごま1.5g、七味少々

### 作り方

- ①大豆もやしは5cm、鶏肉は細かく(5gくらい)に切る。
  - ②炊飯器に米・ゴマ油・薄口しょうゆ・水を入れる。大豆もやしから水が出るので、すこし少なめにする。その後、大豆もやし・鶏肉を入れ、炊飯する。
- 〈ヤンニョムジャンを作る〉
- ③青ねぎは小口切り、にんにくはすりおろす。
  - ④鍋に青ねぎ・にんにく、ごま・七味以外の調味料を入れ、沸騰したらごま・七味を入れる。一煮立ちしたら火を止める。
  - ⑤ご飯を入れ、ヤンニョムジャンをお好みの量かけて食べる。(一度に大量にかけると辛くなるので、少量ずつかける)

## 心に響くひとこと

これまでの自分の人生に  
「失敗は一度もない」

八代 亜紀  
(歌手 1950年～2023年)

「大変なことも、泣きたくないようなことも、たくさんあったけれど、どれも成長するために必要なことと思える。だから、失敗は一度もないと思っているんです」惜しまれながら昨年の暮れに生涯を閉じた八代亜紀さん。難病と闘いながらも、いつも前向きに挑戦されてきたことに敬意を表さずにはいられません。東日本大地震にあたっては、避難所で厳しい生活を送る被災者に故郷である熊本・八代市の特産品「壘」を贈り、「壘製造者の皆さんの愛が詰まっていますから、ゆっくり休んでください」と被災者を労ったと聞きます。

## 今月の 記念日

2月5日  
プロ野球の日

1936年(昭和11年)のこの日、全日本職業野球連盟(現在「日本野球機構」(NPB))の結成でプロ野球が誕生し、(現チーム名で)読売ジャイアンツ、阪神タイガース、オリックス・バファローズ、中日ドラゴンズ、横浜ベイスターズなど7チームが参加しました。大日本東京野球倶楽部に契約選手第1号で入団したのが三原脩(1911年～84年)さんです。第二次世界大戦で多くの選手や指導者が徴兵され、「また野球がしたい」という希望も奪われました。昨年、WBCで日本代表チームが世界一となり、阪神タイガースとオリックス・バファローズがリーグ優勝など、うれしいニュース満載。プロ野球の盛り上がり大いに期待ですね。